



沖縄県土木建築部 部長 屋比久孟尚 （代読）佐敷興昭 土木建築部次長

重責担う建築設備の役割 組織の充実と技術の研鑽を

沖縄県設備設計事務所協会及び社団法人建築設備技術者協会九州支部沖縄会共催による設備懇親会が開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日ご参加の会員の皆様におかれましては平素から本県の土木建築行政の円滑な推進に多大な御協力を賜り深く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、近年の目覚ましい技術革新、産業構造の変化等を背景として、国際化社会、情報化社会、少子高齢化社会への急速な移行により、建築物は、多様化し、それに伴う建築設備の役割も専門分化が進む傾向にあります。

特に、九州・沖縄サミットで決議された『ITに関連する沖縄憲章』や世界規模での『地球環境負荷低減』、『人にやさしいまちづくり』等、情報、環境、福祉に対する取り組みが注目を集める中、建築設備の担う役割は益々重要になっております。

そのため、21世紀の沖縄を支える建築設備の設計に当たっては建築物機能の長寿命化を図り、時代に合ったインテリジェントビル機能の確保等、ハード、ソフト両面からの技術が求められているところであります。

さて本県は、21世紀を見据えた第三次沖縄振興開発計画の最終年度を迎え、社会資本整備のあり方を検討しているところであります。

次期、沖縄振興新法においても、産業の振興と雇用の創出・確保に努め、住みよい沖縄県を目指し、ハードのみならずソフト面に積極的に力を入れた諸施策を推進していくことになっております。

建築営繕事業として、中部地区の福祉保健行政の拠点となる『中部合同庁舎』や、福祉団体の拠点となる『沖縄県総合福祉センター』を着手し、また、『県営天久高層住宅』の新築や『県営平良団地』の建替等を継続事業として進めております。

平成13年度におきましても、『県営渡橋名団地建替』、『県営平良団地Cゾーン』団地建替等の県営住宅をはじめ、『IT教育センター』、『八重山厚生園』、『中央児童相談所』等の工事や設計が予定されております。

会員の皆様におかれましては、組織の充実に加えて技術の向上等、研鑽を重ねられ本県の発展にこれまで以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、貴協会の限りないご発展と会員各位のますますのご活躍を祈念申し上げ祝辞といたします。

